

4 P R T R における大気環境モニタリング

(1) 目 的

大気環境中に排出される量が際だって多い化学物質について、県内の大気環境濃度を把握し、今後の必要な施策を検討するための基礎資料を得る。

(2) 調査方法

ア 調査対象項目

調査対象項目は、トルエン及び総キシレンの2項目としました。

イ 調査地点及び調査回数

表4-18に示す4地点で調査を実施しました。

表4-18 調査地点及び調査回数

| 調査地点 | 所在地 | 調査回数 |
|--------|----------------|------|
| 小牧高校 | 小牧市小牧一丁目321 | 年4回 |
| 安城農林高校 | 安城市池浦町茶筌木1 | |
| 東海市名和町 | 東海市名和町南之山10-13 | |
| 稲沢市役所 | 稲沢市稲府町1 | |

ウ 調査期間

調査期間は、表4-19のとおりです。

なお、例年は季節毎に1回（年4回）調査を実施していますが、2019年度は計測機器の不具合により例年とは異なる時期に調査期間を設定しています。

表4-19 調査期間

| 調査回 | 調査期間 |
|-----|------------------|
| 第1回 | 2019年5月28日～5月29日 |
| 第2回 | 2020年1月9日～1月10日 |
| 第3回 | 2020年2月4日～2月5日 |
| 第4回 | 2020年3月2日～3月3日 |

エ 試料採取方法及び分析方法

試料採取方法及び分析方法は、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」（平成9年2月。23年3月最終改訂 環境庁／環境省）に準拠し、容器採取、低温濃縮、ガスクロマトグラフ質量分析法で分析しました。なお、総キシレンはo-キシレン、m-キシレン及びp-キシレンの濃度を合わせた濃度としました。

(3) 調査結果

2019年度の調査結果を表4-20に示します。

トルエン及び総キシレンともに4地点すべてで検出されました。

表4-20 トルエン及び総キシレンの調査結果

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

| 調査対象項目 | 調査地点 | 年平均値 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|--------|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|
| トルエン | 小牧高校 | 7.5 | 7.0 | 6.3 | 12 | 4.7 |
| | 安城農林高校 | 4.0 | 2.0 | 4.0 | 7.3 | 2.6 |
| | 東海市名和町 | 6.4 | 6.9 | 3.5 | 8.7 | 6.3 |
| | 稲沢市役所 | 5.7 | 4.0 | 3.5 | 13 | 2.3 |
| | 県平均 | 5.9 | | | | |
| | (2018年度県平均) | (6.0) | | | | |

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

| 調査対象項目 | 調査地点 | 年平均値 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|--------|-------------|-------|-----|------|-----|------|
| 総キシレン | 小牧高校 | 3.0 | 3.8 | 2.4 | 4.2 | 1.8 |
| | 安城農林高校 | 2.2 | 1.4 | 1.8 | 4.0 | 1.6 |
| | 東海市名和町 | 3.1 | 3.7 | 1.9 | 4.0 | 2.7 |
| | 稲沢市役所 | 1.8 | 1.8 | 0.95 | 3.6 | 0.70 |
| | 県平均 | 2.5 | | | | |
| | (2018年度県平均) | (2.0) | | | | |

(参考)

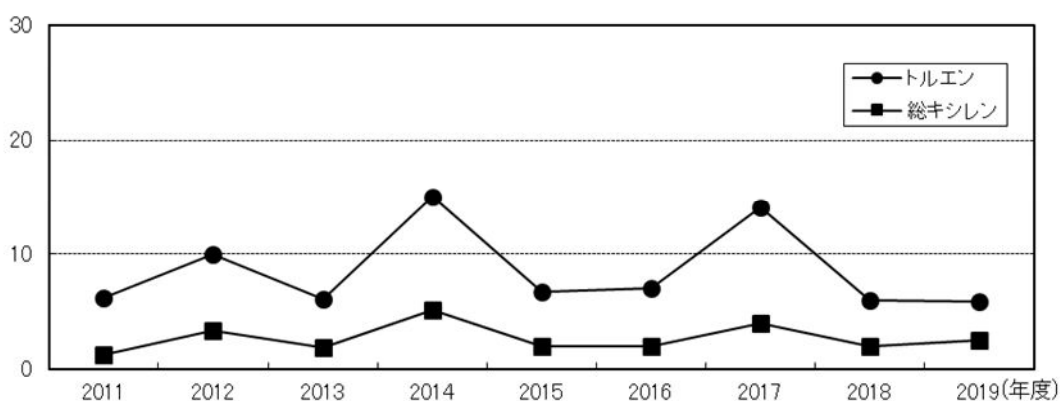


図4-7 トルエン及び総キシレンの県平均値の経年変化